

事業実施による環境等への影響及び予防措置に関する報告書

事業者名	施設設置（予定）場所	発電設備の出力
株式会社A	香川県●●市●●番地	●●kW

事業実施による環境等への影響		予防措置
安全面の影響	【斜面への設置】 ・斜面に設置するため、法面の崩壊等の可能性がある。 【地盤強度】 ・設置場所の強度が低いため、地表の浸食の可能性がある。 【排水】 ・雨水により地表面が浸食され、土砂流出の可能性がある。 【法面】 ・雨水による洗掘や雨裂により、法面の崩壊の可能性がある。 【防災】 ・施工中に災害が発生する可能性がある。	【斜面への設置】 ・設置場所の勾配は30度未満に造成する。 【地盤強度】 ・締固めを行う。 ・セメント系固化材の添加を行う。 【排水】 ・事業地内に排水路を設置する。 ・調整池を設ける。 ・盛土内には地下水排除工を設置する。 【法面】 ・雨水を分散させる柵工や筋工を行う。 ・法面を保護する植生マット等の伏工を行う。 【防災】 ・施工中の災害の発生を防止するため、防災施設を先行設置する。
	景観面の影響	・事業区域の周辺に展望地が存在し、眺望の悪化の可能性がある。 ・〇〇公園からの景観に影響を与えないよう、発電設備等の色を周囲の環境と同配色とし、公園側に植栽を施す。
自然環境・生活環境の影響	騒音・振動	【工事中】 ・工事車両の走行ルートが住宅から近いため、騒音・振動の影響の可能性がある。 ・建設機械が騒音・振動が生じる可能性がある。 【施設稼働中】 ・パワーコンディショナの設置位置が住宅から近いため、住宅に騒音の影響が生じる可能性がある。
	水の汚れや濁り	【工事中】 ・工事車両の走行時間を午前8時～午後5時までとし、土日や祝日は工事を行わない。 ・低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 【施設稼働中】 ・パワーコンディショナの周りに防音擁壁を設置する。 ・パワーコンディショナの設置位置を〇〇m住宅から離す。
	反射光	・造成に伴い濁水が生じる可能性がある。 ・太陽光の反射を抑えた防眩仕様のパネルを採用する。 ・敷地の南側に反射光を遮る植栽を施す。
	雑草の繁茂	・設置場所の南側に住宅があり、反射光の影響が生じる可能性がある。 ・雑草が繁茂する可能性がある。 ・〇か月に1回草刈りを行う。 ・防草シートを敷く。
	動植物の重要な種及び生息地	・土地の形状の変更により消滅・縮小等の影響が生じる可能性がある。 ・設置場所周辺の生息地が消失・縮小したり、環境が変わって影響を与えてしまう可能性がある。 ・生息地周辺への土砂流入を防止するとともに、生息地にみだりに侵入し、踏み荒らさない。 ・繁殖期など特に配慮が必要な時期においては、影響を及ぼさないよう、工事時期を調整する。
	重要な地形及び地質	・日本の典型地形となる区域については、事業区域から除外し、改変しない。

事業実施による環境等への影響		予防措置
再エネ発電事業に伴い生じる廃棄物の撤去等に関する影響	【廃棄物の処理】 - 施設の撤去に際して、廃棄物の処理（設備の廃棄費用等）が生じる。 【原状回復】 - 事業の終了後、現状回復の必要がある。	【廃棄物の処理】 〇〇年頃撤去予定であるため、〇〇年から〇〇年まで撤去費用（〇〇円）を積み立てる。 【原状回復】 - 事業を実施する前の状態に現状回復を行う。

事業実施による環境等への影響及び予防措置の周知方法	ホームページでの周知（URL：〇〇） 等
---------------------------	----------------------